

No.

2023 年度 理 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	探究化学	単位数	2	週時間数	4	年次・コース・組	3年一般コース理系
使用教科書 副教材等	自主教材,リードα化学基礎+化学(数研出版),スクエア最新図説化学(第一学習社),						

① 学習の到達目標

高校化学の各分野における基礎知識・基本技能の習熟を図った上で、以下の内容について学習する。(1)論理的思考が求められる応用的・発展的な課題に、自らの力で取り組む。(2)根拠を明らかにして自分の考えを説明できる表現力を育む。(3)特に、以下の内容の深化を図る。(i)結合 (ii) 気体と溶液 (iii)平衡 (iv)様々な物質

② 評価の観点、方法

(1)100点法で評価するが、その内訳は原則として定期テスト8割、平常点2割とする。(2)定期テストにおいては、知識、理解、思考力、表現力を評価する。(3)平常点の内容は、出席状況と授業への取り組み(関心、態度)、小テスト(意欲、知識)、課題の提出(意欲、思考力、表現力)などとする。

③ 担当者から

(1)「化学」の履修を前提として学習する。(2)理解が深まるにつれて、「化学基礎」と「化学」で学んだ様々な知識が結びついていき、視界がパッと開けていく楽しさを味わって欲しい。(3)大学進学後の探究的な学習に繋がる、より深い学習を行う予定である。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業予定 時数	授業 実施 時数
4					
5					
6					
7・8					
9					
10	物質の状態	原子の構造、イオン化エネルギー 電子親和力、電気陰性度、極性 化学結合に関する応用力養成	原子の構造、イオン化エネルギー、電子親和力、電気陰性度などに関する基礎知識の習熟を図る。極性と化学結合に関する応用的な問題に取り組む。 ◎用語についてその意味を理解し、説明することができる。 ◎根拠をもって解答を導くことができる。		
		気体の諸法則 混合気体 希薄溶液の性質	気体の法則性、混合気体、希薄溶液の性質に関する問題演習を行い、量的扱いについて習熟を図る。 身近なコロイドの例について理解を深める。 ◎用語についてその意味を理解し、説明することができる。 ◎根拠をもって解答を導くことができる。		
11	物質の変化と平衡	定量的扱いの習熟 生体内の酸塩基反応 様々な反応の速度と平衡 定量的扱いの習熟 実用電池 後期中間試験	反応速度と様々な化学平衡について、問題演習を行って理解を深める。 様々な実用電池や合金等について知る。 ◎用語についてその意味を理解し、説明することができる。 ◎根拠をもって解答を導くことができる。 ◎正確に計算することができる。	24	
12	無機物質 有機化合物 高分子化合物	有機化合物 高分子化合物 無機物質 総合演習	有機化合物、高分子化合物、無機物質について、問題演習を行って理解を深める。 ◎用語についてその意味を理解し、説明することができる。 ◎それぞれの物質の性質、製法やその利用法について理解し、説明することができる。 ◎正確に計算することができる。 ・上記の分野が混合した演習問題を行って理解を深める。 ◎問題を整理し、どの分野の出題であるかを分析し、正確に解答を導くことができる。		
1		二次講習	◎全体を通しての評価の観点 <関心・意欲・態度> 学習内容に関心を持ち、意欲的に探究する中で、科学的なものの見方・考え方を身に付ける。(主に平時の学習状況により評価する) <思考・判断・表現> 様々な事象を科学的に考察し、その結果を的確に表現する。(思考力を要する課題に対する取り組み状況を評価) <知識・理解> 基本的な概念を理解し、知識を身に付け、それを応用できる。(主に問題演習と定期考査により評価する)		
2・3				20	